

第64回日本農村生活研究大会 in 埼玉 開催要領

1 開催日 平成28年10月15日（土）、16日（日）

2 開催場所 十文字学園女子大学

新座市菅沢 2-1-28 最寄り駅：JR 武蔵野線新座駅

3 開催主旨

日本農村生活学会は、「農村生活に関する研究の発展と成果の普及をはかり、農村生活の向上に寄与することを目的」とする学術団体である。これまでに、食生活、住環境、労働衛生、女性・家族、高齢化・福祉、都市農村交流、地産地消、食育、女性起業といった農村生活に関するテーマを幅広く取り上げ、活動を行ってきた。

農業をめぐる環境変化は、農業経営のみならず、農家生活や地域の人々のつながりにも大きな変化を与えている。農産物に求められる付加価値が多様化しているだけでなく、生産者と消費者の関係も多様化している。また、生産は男性主導、消費は女性主導という性別役割分担は解消しつつあるが、本質的な男女共同参画社会の実現に向かう道筋はまだ試行錯誤の繰り返しである。このような状況をふまえ、多くの消費者に囲まれ、多彩な農業が展開されている埼玉で、今大会を開催することは、農業に対する多様な立場の人々の交流・議論をめざすものである。特に、シンポジウムで取り上げる「健康志向と6次産業化」は農産物の付加価値化において重要な視点であり、埼玉農業がめざす収益性の高い農業経営実現の一助となる可能性が高い。また、ラウンドテーブルで取り上げる消費者との多様な交流事例は、地域資源としての農業を、埼玉県民の観光、教育、福祉等のニーズとつなぐ可能性を示すこととなる。これらを通じて、現代の地域社会や生活において求められている、多様性や持続可能性の意義と可能性に接近を試みる。

4 主催 日本農村生活学会

後援 埼玉県（平成28年7月8日後援等承認）

5 開催内容(案)

(1) シンポジウム(10/15 13:10~16:40)

テーマ 健康志向と農業の6次産業化

コーディネーター：宮城道子（十文字学園女子大学）

報告者：長尾昭彦氏（十文字学園女子大学）

食品の機能性を踏まえた消費者へのメッセージ（仮題）

尾崎千恵子氏（さいたま農村女性アドバイザー）

農業女性が6次産業化に取り組むとき（仮題）

河野律子氏（中小企業診断士）

6次産業化を支援するという立場からみた農業（仮題）

(2) 一般報告(10/16 9:30~11:30)

(3) ラウンドテーブル(10/16 13:00~15:30)

A 都市農業と地域との交流

コーディネーター：西山未真氏（千葉大学）

話題提供者：並木大治氏（ダチヨウ牧場並木屋：新座市内）

B 都市住民の参加による伝統農法と加工品開発

コーディネーター：佐藤奨平氏（日本大学）

話題提供者：伊東蔵衛氏（三芳町川越いも振興会代表）

(4) 学会賞授与式・学会総会（10/15 16:40~17:50）

(5) 情報交流会（10/15 18:00~19:30）

6 参集範囲

日本農村生活学会会員、普及担当部局、農業関係試験研究機関、大学、農業関係団体、
農業者など

7 参加費等

大会参加費 会員：4,000円、非会員：6,000円、学生：2,000円

情報交流会会費 会員・非会員：4,000円、学生：2,000円

8 大会に関する問い合わせ先

日本農村生活学会総務委員会

東京都港区芝公園2-6-8 日本女性会館4階

一般社団法人 農山漁村女性・生活活動支援協会内

TEL 03-5777-5383 Email rural-life@weli.or.jp

大会実行委員会

埼玉県新座市菅沢2-1-28

十文字学園女子大学 宮城道子研究室

TEL 048-260-7675 Email m-miyaki@jumonji-u.ac.jp

9 その他

- ・開催要領、プログラム等は、確定次第、学会HPで公表予定 <http://ruralife.org/>

以上